

都における施策の方向性<「未来の東京」戦略(令和3年3月)>

■ 認知症に向き合い、「共生」と「予防」両面の対策を進める 【2030年に向けた戦略4_長寿(Chōju)社会実現戦略】

令和6年度予算 認知症施策

◎:新規 ●:見直し・拡充事業

1 普及啓発・本人発信支援

- 区市町村における認知症普及啓発の取組を支援(包括補助)
- 認知症サポーターの養成
- 認知症シンポジウムの開催
- 都庁舎等のオレンジ・ライトアップ
- パンフレット「知って安心認知症」の活用
- 東京認知症ナビによる周知
- とうきょう認知症希望大使の任命

2 予防

≪認知症になるのを遅らせる、認知症の進行を緩やかにするための支援≫

- 介護予防に資する通いの場への参加促進(介護予防・フレイル予防推進)
- 認知症予防推進事業の活用促進(包括補助)
- 予防に関するエビデンスの収集の推進(認知症未来社会創造センター)

3 医療・ケア・介護サービス 介護者への支援

○認知症疾患医療センター運営事業

累計	地域拠点型	地域連携型
指定数	12か所	40か所

●認知症支援推進センター運営事業(島しょ等地域への支援の充実)

◎認知症サポート医地域連携促進事業

○認知症支援コーディネーター配置支援(包括補助)

○認知症の人と家族を支える医療機関連携型介護者支援事業(包括補助)

○若年性認知症の人と家族を支える体制整備事業(包括補助)

●認知症とともに暮らす地域あんしん事業

・認知症検診推進事業のリニューアル

・認知症地域支援推進事業(包括補助)

・認知症ケアプログラム推進事業(一部包括)

◎認知症抗体医薬対応支援事業

4 認知症バリアフリー・若年性認知症・社会参加支援

◎認知症の人の社会参加推進事業

◎認知症高齢者早期発見等支援ネットワーク事業

○東京都行方不明認知症高齢者等情報共有サイト運用

●「チームオレンジ」を地域ごとに構築(オレンジチューターによる区市町村支援を新たに実施)

○高齢者権利擁護事業

●若年性認知症施策(若年性認知症支援事業・若年性認知症総合支援センター)

・企業向け研修・事業所向け研修に加え、医療機関向けの研修を実施

・若年性認知症総合支援センター

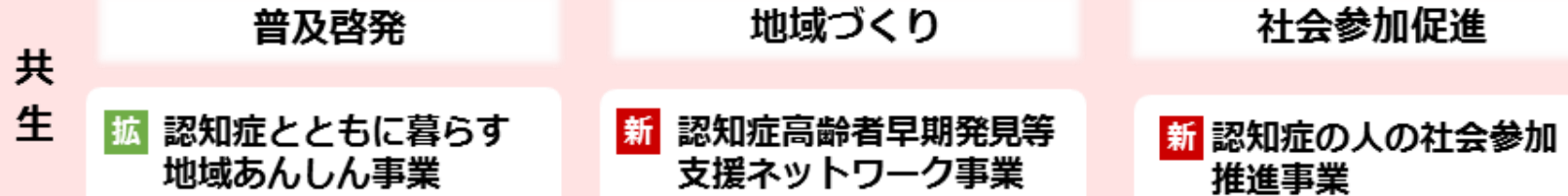
- ①ワンストップ相談窓口②本人・家族支援③関係機関向け研修④地域におけるネットワークづくり

5 研究開発等

○AI等を活用した認知症研究事業(認知症未来社会創造センター(IRIDE))

認知症施策の全体像

- ◆ 認知症の人が尊厳を保持しつつ「希望」を持って暮らせる「共生社会」を実現



T O K Y O 認知症施策推進プロジェクト



①啓発・検診 → ②診断 → ③精密検査 → ④治療・介護まで、一気通貫で支援

治療・ケア

- 拡** 認知症とともに暮らす
地域あんしん事業
- ・ 認知症検診の対象を50歳以上
に拡大

- 新** 認知症抗体医薬対応支
援事業

- ◆ 認知症とともに暮らす
地域あんしん事業
- ・ B P S Dケアプログラムの
運用

研究の蓄積による下支え

研究

- 新** 認知症発症メカニズム解明と新規治療
法等の研究の推進

- ◆ A I 等を活用した認知症研究事業